

CORPORATE PROFILE

会社案内

“柔軟且つ斬新な発想と高度な技術力で豊かな社会づくり”に貢献します。

昭和33年、当社は発泡樹脂業界の草分け的存在としてスタートしました。

以来、常に研究開発主導型企業として成長を続け、今日では「品質の金山」「技術の金山」と評価され、発泡樹脂の最新技術をもって、各分野へ広範な展開を図り、全国最有力企業の一つに数えられるまでに発展してまいりました。これもひとえに皆様方の絶大なご支援によるものと深く感謝している次第です。

特に近年、社会的・経済的な変化は著しく、企業環境は厳しさを増してきておりますが、当社は、これまで培ってきた技術力、開発力に加え、新しい時代のニーズを極め、創業以来の“パイオニア精神”により、豊富な経験、確かな実績に加え、豊かな創造性を発揮して、発泡樹脂の新しい製品開発に邁進してまいります。そのため次代を担う人の育成に注力し、全社一丸となった強靱な企業力の向上をめざしてまいります。

これからも金山化成は、発泡樹脂を通じ“豊かな社会づくり”に貢献してまいります。今後とも一層のご支援をお願い申し上げます。

地球にやさしく、人にやさしい、発泡樹脂製品。

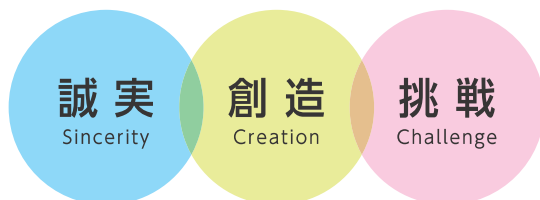
代表取締役社長 金山 亮

K 金山化成株式会社

- 会社概要
 - ▶ 所在地 愛知県西尾市宮町260
 - ▶ 設立日 昭和35年11月9日
 - ▶ 資本金 95,112,500円
 - ▶ 年商 93億円（令和4年度）
 - ▶ 従業員 290名



■ 企業文化



誠実な志を持ち、
豊かな創造力を発揮し、
積極果敢に挑戦します

■ 行動指針

お客様第一

- ▶ 1. 「省資源」「リサイクル」を推進し 地球環境に貢献する企業を目指します
- ▶ 2. お客様に信頼され 満足していただける品質を提供します
- ▶ 3. 敏速な「判断」「行動」で 変化に対応します
- ▶ 4. 常に自己研鑽を怠らず 活力ある人材を育てます
- ▶ 5. 働きがいのある職場 地域に誇れる企業をめざし 会社の繁栄と発展で豊かな生活を築きます

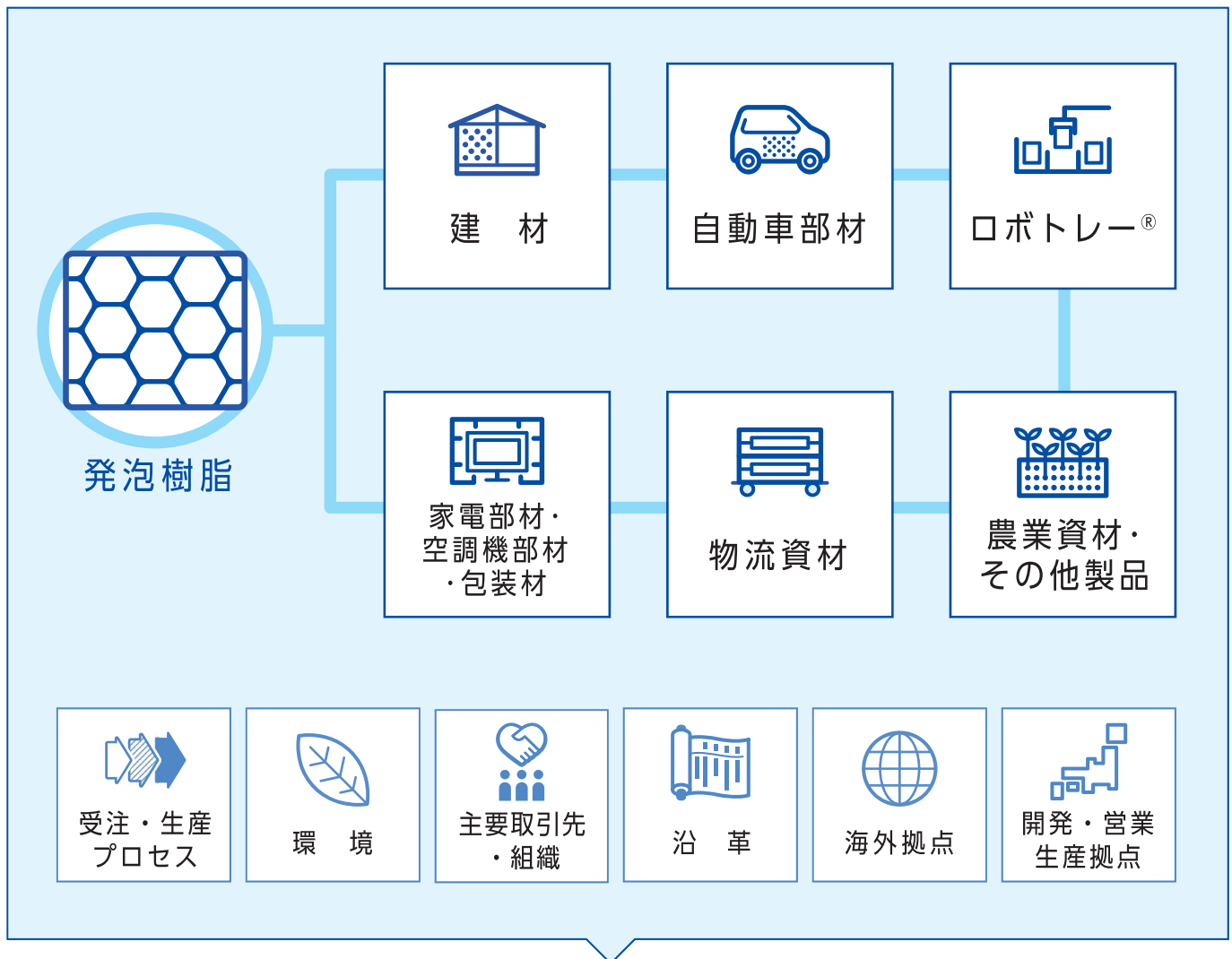
“心触れ合う環境”が今日の技術を築いてきました。

技術は人なり。

金山化成では、組織を越えた心触れ合う環境づくりが「人」の能力を発展させ「技術」を生み出すと考え、それを業界に先駆けたさまざまな技術の開発や、新しい生産システムの確立に繋げて参りました。私たちはこれからも全社一丸となり「明日の技術の創造」に邁進して参ります。

事業内容

BUSINESS CONTENTS



当社は、多彩な利用技術で多様な発泡樹脂製品を提供しています。

今、私たちのまわりでは様々な場で発泡樹脂製品が利用されています。

金山化成は、この汎用性の高い発泡樹脂の用途開発を進めてきました。その結果、現在では活躍の場はさらに広がり、各種電化製品・事務機器などの包装緩衝材、魚箱、養殖場のフロートのみならず、エアコン・冷蔵庫などの断熱構造部品、建築物の各種構造断熱材、建築・土木の化粧型枠材、鋳造業界においては消失模型用にロストフォーム鋳造用モデル、自動化工場で活躍する自動組立ロボットへの部品供給用ロボトレ[®]、自動車の内装材、植物工場での栽培用資材など、あらゆる分野に及んでいます。これは私たちの卓越した利用技術が発泡樹脂に新しい生命を吹込んできた結果といえます。社会ニーズに機敏に対応する当社製品は、お客様のコスト低減にも大きく貢献し、当社はお客様に信頼されるパートナーへと発展しています。



ISO9001 (登録証番号 JP08/061005.0)
2000年12月 ISO9001:1994 認証取得
2002年 8月 ISO9001:2000 認証取得 (2000年版へ移行)
2009年 7月 ISO9001:2008 認証取得 (2008年版へ移行)
2017年 7月 ISO9001:2015 認証取得 (2015年版へ移行)



ISO14001 (登録証番号 JP08/070420.0)
2003年 1月 ISO14001:1996 認証取得
2005年 8月 ISO14001:2004 認証取得 (2004年版へ移行)
2017年 7月 ISO14001:2015 認証取得 (2015年版へ移行)



建 材

BUILDING MATERIALS

木造やRC住宅、学校・病院などの省エネルギー・高断熱に欠かせない断熱材として発泡樹脂製品は活躍しています。屋根・壁・床下・基礎の断熱材、配管用の保温保冷材、窓や門柱の装飾材など多岐に渡りご採用頂いています。

EPSは他の発泡プラスチック系断熱材と比べ長期間断熱性能を維持することが確認されています。中でも『SKフォーム』は国土交通大臣の防火構造認定を取得し、窯業系サイディングや木外装を用いた壁体を使用することが可能です。また、ターマイトバリアフォーム®、ドライビットアウサレーション® はEI制度にて優良断熱材として認証されています。

SKパイプカバー®W
(配管保温保冷材)



JIS A 9511 認証

SKパイプカバー®
(配管保温保冷材)



JIS A 9511 認証

屋根瓦下地断熱材



SKフォーム
(保温材・断熱材)



JIS A 9511 認証
JIS A 9521 認証

SKモールディング
(装飾材)



化粧型枠材
(建築・土木用)



吹付硬質
ウレタンフォーム



ドライビット
アウサレーション®
(湿式外断熱システム)



優良断熱材認証製品



ネダフォーム®
(断熱床下地材)



SKフォームプレカット
(床下断熱材)



床暖房マット



ターマイトバリアフォーム®
(防蟻断熱材)



優良断熱材認証製品



自動車部材

AUTOMOBILE PARTS

発泡樹脂の特性を生かした軽量衝撃吸収材として、バンパーコア材をはじめ多くの自動車部品に採用されています。耐熱性・燃焼性・リサイクル性にも優れることから発泡ポリプロピレン (EPP) で成形した製品が、インパネ・シート・ヘッドレスト・フロアー・ドア・ラゲッジスペースなどの内装材へも採用され、車両の軽量化に貢献しています。最近では、低VOCグレードの開発により発泡ポリスチレン (EPS) の採用も増えてきています。

ヘッドレスト



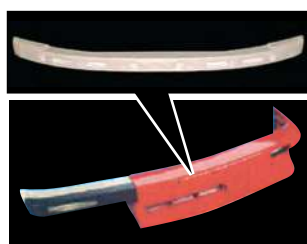
サンバイザー



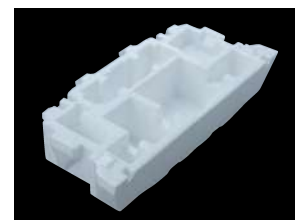
デッキボード



バンパー



ラゲッジボックス



リアシート



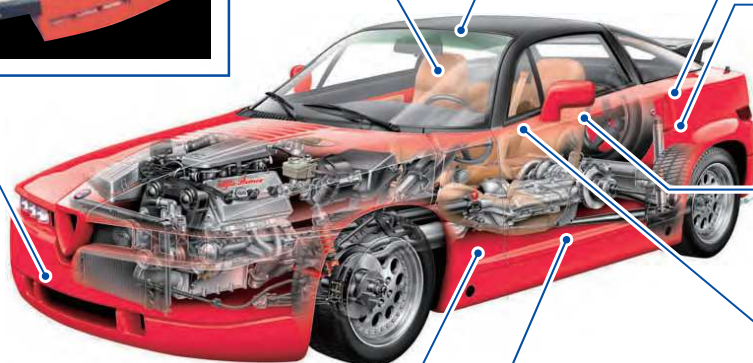
フロアスペーサー



ドア側突パッド



アームレスト





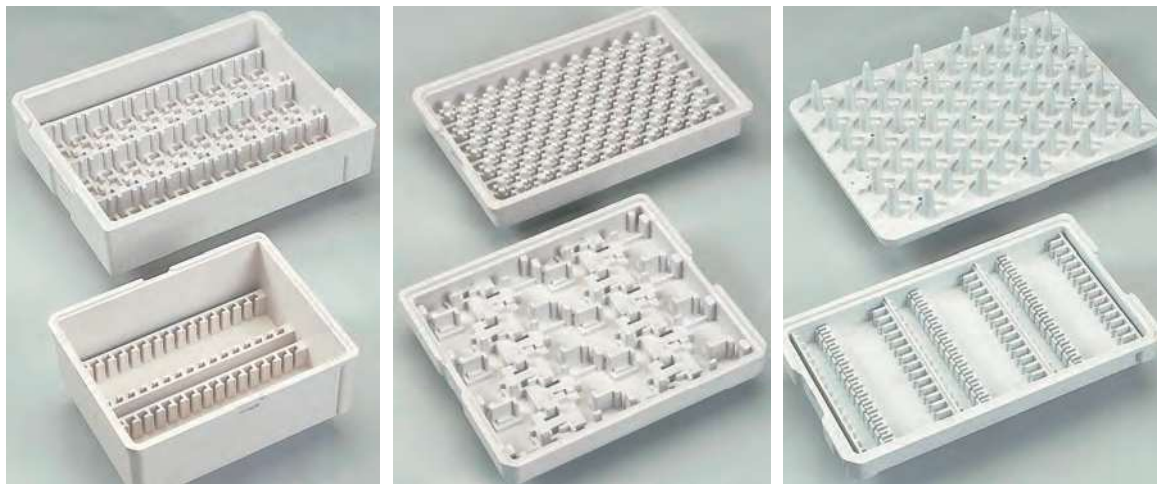
ロボトレー[®] ROBOTRAY

ロボトレー[®]とは、工場内の組立ロボットが活躍する自動化工程内において使用する部品供給トレーです。初版以降、家電・自動車・建築部材等様々な分野の業界で採用頂いています。独自開発された原料で寸法精度に優れ、繰り返し使用に適した剛性をもつ軽量の発泡材質のため、生産工程から物流まで一貫してお使いいただけます。

お客様の用途に合わせた形状・材質(帯電防止・耐油・耐熱等)をご提案し、設計・金型製作・成形・仕上までの社内一貫生産で低価格・高品質・短納期を実現します。



自由設計：用途に合わせた素材、形状をご提案できます。

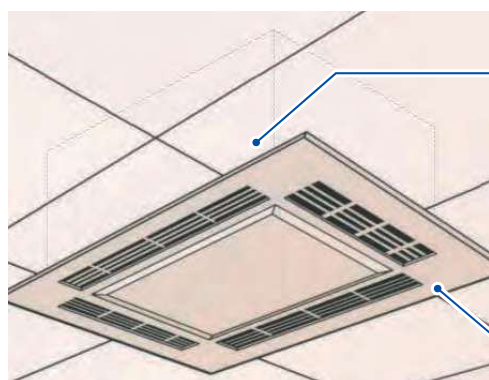




家電部材・空調機部材・包装材

COMPONENT
PARTS &
PACKAGING

家電製品の梱包緩衝材のほか、エアコンや冷蔵庫の断熱構造部材や業務用エアコン(空調機器)のドレンパン、給湯器タンクの保温材など、多くの製品に採用され、本体内部の目に触れないところで機能を発揮しています。

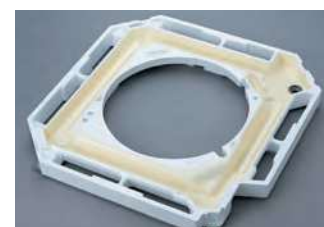


板金インサート成形

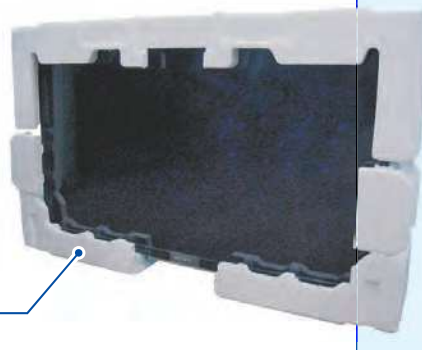


エアコン機能構造部材

真空成形+
板金インサート成形

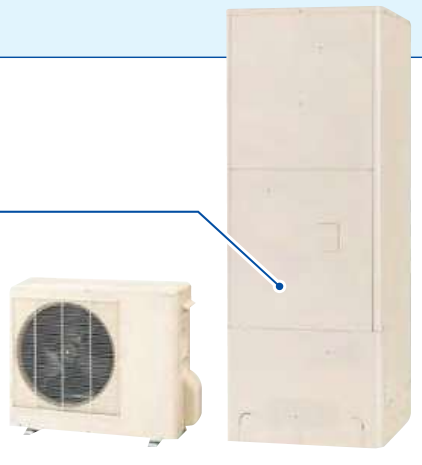


液晶テレビ 包装材



冷蔵庫 機能構造部材

エコキュート保温材





物流資材

LOGISTICS EQUIPMENT

発泡樹脂製品は、部品を保護するため、工場間や工程間など通箱の内材として使用されています。ポリスチレン、ポリプロピレン、ポリエチレンをはじめとする様々な素材を用い、物流効率・作業性・コストを考慮した、見て体感できる3D設計でご提案します。3Dスキャナーを利用し部品現物を測定して設計することも可能です。鉄台車との組み合わせや圧空成形品・樹脂加工品など他素材品もご提供します。

■ 発泡ポリプロピレン・発泡ポリエチレン成形品

発泡ポリプロピレンは、耐油性があり、割れ欠けしにくいいため、通い箱の内材に多く使用されます。

内材タイプ

ブレーキブースター用



燃料ポンプ用



ブレーキディスク用



台車タイプ

台車も弊社で調達し、
発泡品とセットで供給します。

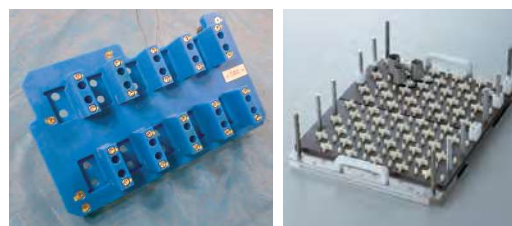


■ その他樹脂製品

真空・圧空成形品



樹脂加工品





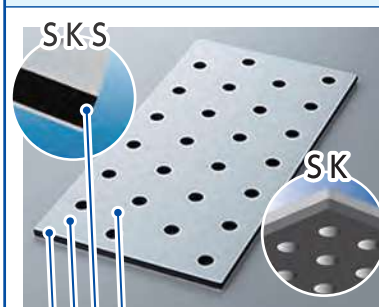
農業資材・その他製品

OTHER PRODUCTS

発泡製品の可能性を追求し、多様な商品開発を目指しています。

■ 農業資材

水耕パネルSK/SKS



表面の白が葉裏まで光を反射
植物の育成環境を改善

黒色の層が光の透過を防ぎ
藻の発生を抑制

特殊加工で表面がなめらかなので
清掃しやすく衛生的

軽量でしなやかな素材なので
割れ、欠けにくい

水耕パネルAg (抗菌)



水耕パネル (スタンダード)



水耕ベッド



イチゴベッド



■ その他製品

スチロバール エコ



メダカの発泡丸鉢



モーターサイクル用ヘルメット





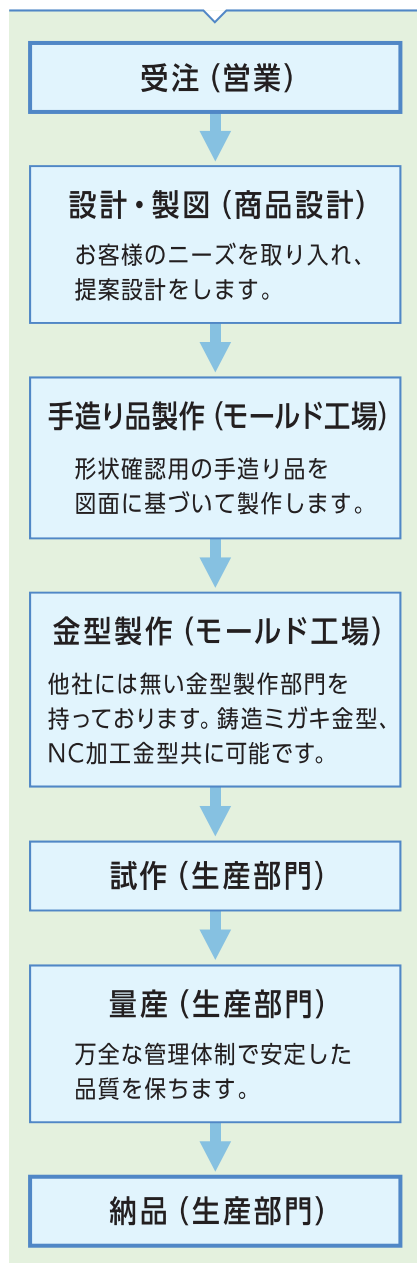
受注・生産プロセス

FLOW & PROCESS

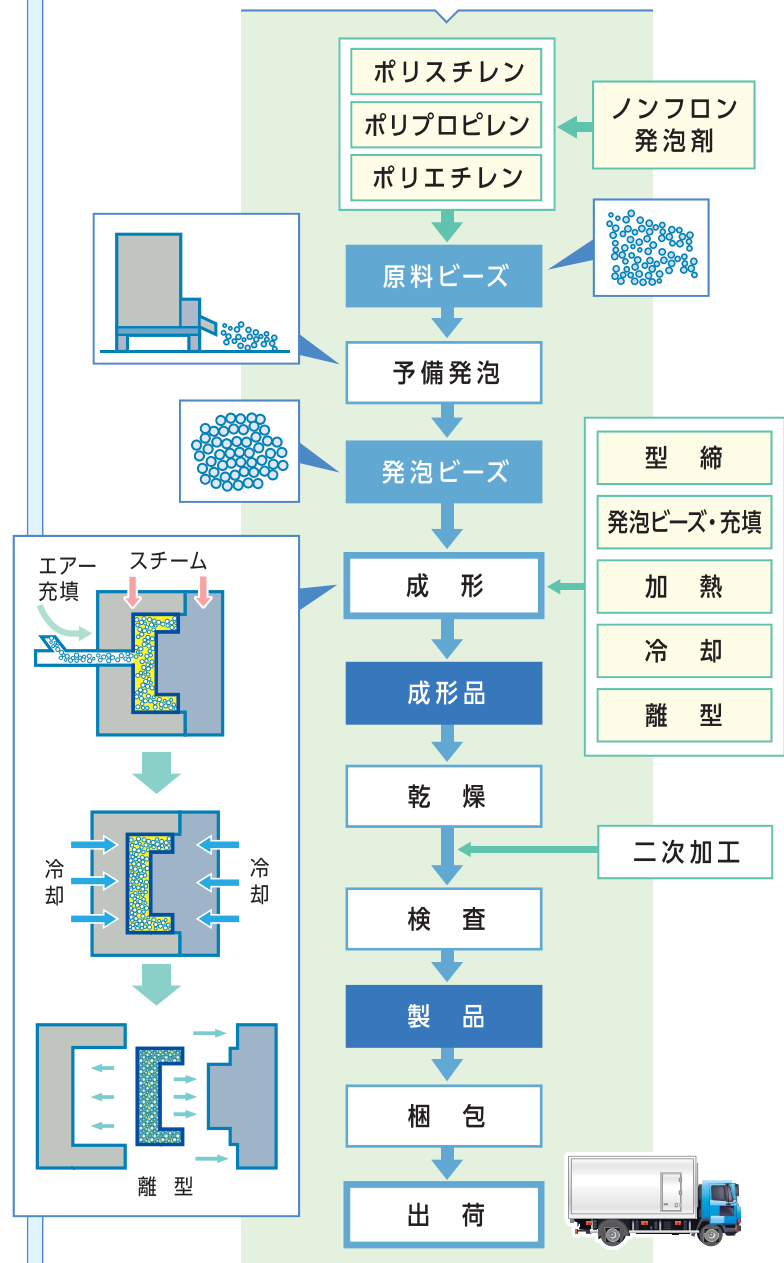
設計から金型製作、生産、納品までの一貫システムで、
発泡樹脂製品を幅広い分野へ提供しています。

時代とともに私たちをとりまく環境や産業構造は大きく変化してきました。それにより生まれた新たなニーズが発泡樹脂の活躍の場を広げてきたともいえます。私たちは独自の応用技術、そして生産技術で可能性をカタチに変えてきました。多様化・高次元化・高精度化し続けるお客様ニーズに応え、常に高品質の製品をお届けし、業界のパイオニアであり続けるため、私たちは最高の技術でお応えします。

1. 受注～納品フロー



2. 生産プロセス





環境

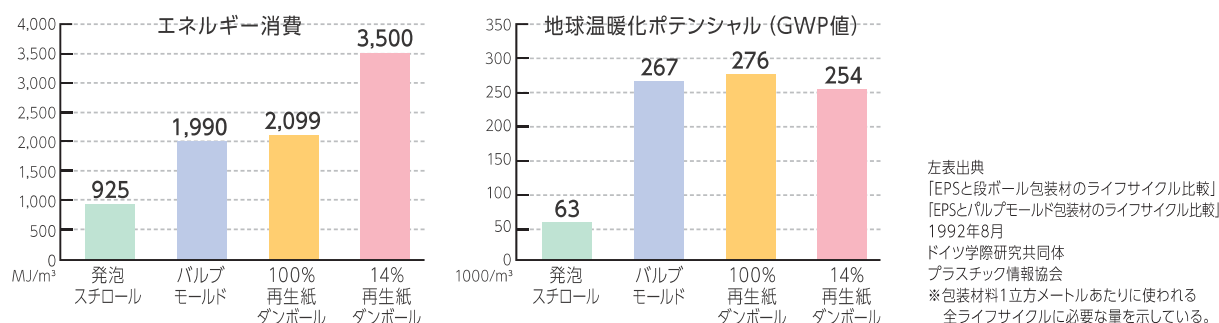
ENVIRONMENTAL PERFORMANCE

近代産業の発展により、社会経済に豊かさと利便性をもたらし、人々の暮らしを快適にする一方で、大切な資源の消費や膨大な廃棄物の排出など、多くの問題を抱えているのが現実です。

私たちは、今日の産業の隠れた名脇役として欠かせない発泡スチロールの再利用・再資源化のために尽力すると共に、発泡スチロールの環境面での優しさをみなさまに知っていただくことも同じくらい重要であると考えています。

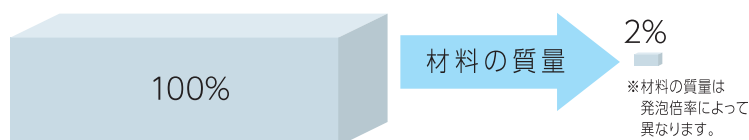
① 発泡スチロールは環境への負担が少なく、地球に優しい素材です。

発泡スチロールの地球環境への負担は、パルプモールド・段ボールに比べ二酸化炭素の排出量が1/4以下で、大気汚染や水質汚濁、エネルギー消費、地球温暖化ポテンシャルなど、各要素で地球環境に与える負担は少ないのです。



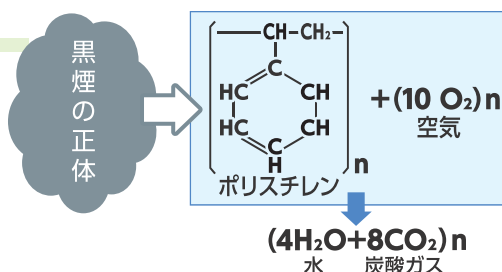
② 98%が空気の省資源素材

発泡スチロールは原料のポリスチレンビーズを蒸気で50倍に膨らませて使います。材料はわずか2%で省資源素材です。



③ 発泡スチロールは有害物質を含みません

成分は炭素と水素だけで、有害な物質は含まれていません。発泡スチロールを燃やしたときに黒煙が発生しますが、これは有害なガスではありません。発泡スチロールは石油製品共通の性質として、燃える時に木や紙より多くの酸素を必要とします。そのため酸素不足になると不完全燃焼となり黒煙（スス）が発生するのです。



④ ダイオキシンは発生しません

ダイオキシンは、炭素・水素・塩素が反応して生成される物質です。発泡スチロールは、塩素を含まない物質ですから、単独で燃やせばダイオキシンは発生しません。

⑤ フロンは使用していません

原料を50倍に膨らませる為、原料ビーズには発泡剤が含まれています。その発泡剤はブタンやペンタン等の炭化水素製品で、オゾン層に影響を与えるフロンガスは使用していません。



主要取引先

CUSTOMERS & SUPPLIERS

■ 納入先

- 株式会社アイシン
- 株式会社アイシン・ロジテックサービス
- 愛和産業株式会社
- 内田商事株式会社
- 岐阜プラスチック工業株式会社
- 株式会社クボタ
- 小松開発工業株式会社
- JAあいち経済連
- 株式会社ジェイテクト
- 株式会社SHOEI
- スズキ株式会社
- 株式会社スニック
- 住友林業株式会社
- 住理工商事株式会社

- ソニー株式会社
- 株式会社タケヒロ
- 株式会社チューゲン
- 株式会社デンソー
- 株式会社東海ハウス
- 株式会社棟匠
- トクラス株式会社
- 豊田合成株式会社
- トヨタ自動車株式会社
- トヨタネ株式会社
- トヨタ紡織株式会社
- 株式会社トヨトミ
- 長瀬産業株式会社
- 平松工業株式会社
- ホーム建材株式会社
- 本田技研工業株式会社
- 株式会社丸進
- 三井ホーム株式会社

- 三菱ケミカルインフラテック株式会社
- 三菱自動車工業株式会社
- 三菱重工サーマルシステムズ株式会社
- 三菱電機株式会社
- 三菱電機エンジニアリング株式会社
- 三菱電機トレーディング株式会社
- 矢崎化工株式会社
- ヤマハ株式会社
- ヤマハ発動機株式会社
- その他

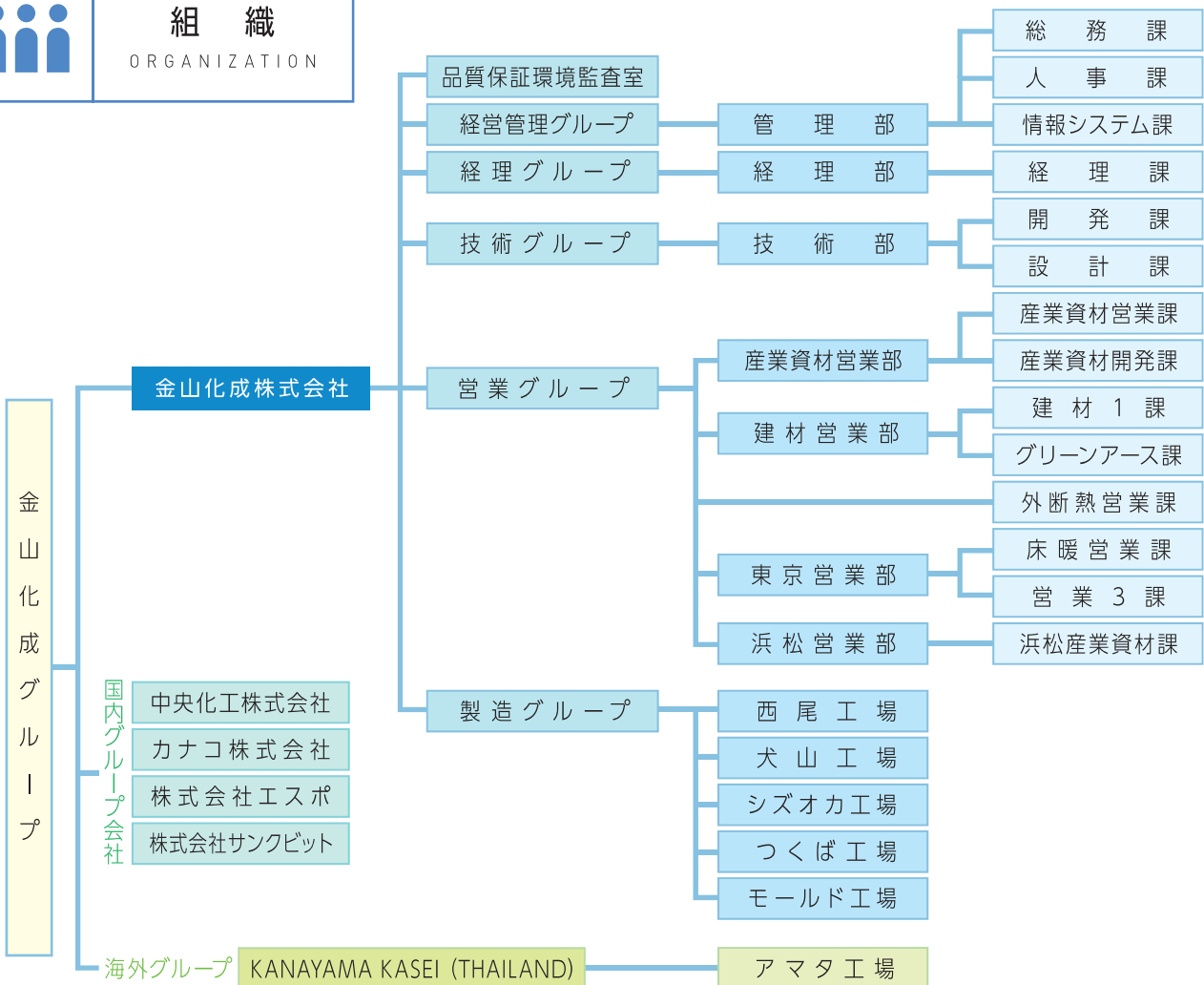
■ 仕入先

- 旭化成株式会社
- 三昌フォームテック株式会社
- 株式会社JSP
- 高島株式会社
- 豊田通商株式会社
- 三菱商事プラスチック株式会社
- その他 (敬称略50音順)



組 織

ORGANIZATION





沿革

HISTORY

- | | | | |
|------------|--|------------|---|
| 昭和 32年 2月 | フォームポリスチレン（発泡スチロール）成形加工による断熱材の製造を企画し、調査、研究に着手。 | | 化成（株）、金山化成つくば（株）を吸収合併し統合完了。 |
| 昭和 33年 6月 | 金山化成工業所を創立、商品名をSKフォームとして断熱材の製造および販売を開始。月産能力5t。 | 平成 4年 11月 | 株式会社エスポを西尾市宮町に設立。
株式会社エスポ春日井工場を春日井市下津町に設立。 |
| 昭和 35年 2月 | 名古屋営業所を名古屋市中区丸の内に開設。 | 平成 4年 12月 | 名古屋営業所を名古屋市北区域見通に移転。 |
| 昭和 35年 11月 | 金山化成株式会社を設立、従来の製法に研究、改良を加え、本格的生産を開始。月産能力10t。 | 平成 7年 10月 | 東京営業所を東京都千代田区鍛冶町に移転。 |
| 昭和 43年 4月 | 名古屋営業所を名古屋市北区敷島町に移転。 | 平成 8年 4月 | 大阪事務所を大阪府豊中市曾根東町に設立。 |
| 昭和 43年 4月 | 浜松出張所を静岡県浜松市和田町に開設。 | 平成 8年 4月 | 岡崎営業所を岡崎市東明大寺町に設立。 |
| 昭和 45年 2月 | 米津配送センターを西尾市米津町に建設、製品流通の促進化を図る。 | 平成 9年 6月 | つくば工場が日本工業規格表示許可工場（通商産業大臣許可第397011号）として認定され、JISA9511に規定されている保温板、保温筒の製造、販売を開始。 |
| 昭和 48年 8月 | 犬山工場（金山化成犬山株式会社）を犬山市羽黒に建設、発泡スチロールの包装材の成形加工を開始。月産能力70t。 | 平成 10年 2月 | 中央化工（タイランド）をタイ国サムットプラカーン県に設立。 |
| 昭和 50年 9月 | 本社工場建材品工場新設工事完成、製品の品質管理、製造管理の合理化を図る。月産能力230t。 | 平成 10年 12月 | グリーンアース株式会社（旧岡崎営業所を分社化）を岡崎市東明大寺町に設立。 |
| 昭和 51年 3月 | 一般建設業（钣金工事、熱絶縁工事、内装仕上工事）の営業を開始、許可番号 愛知県知事許可（般-51）第18905号。 | 平成 11年 9月 | 金山化成（タイランド）をタイ国チョンブリ県に設立。（アマタ工場） |
| 昭和 53年 1月 | 本社工場が日本工業規格表示許可工場（通商産業大臣許可第477086号）として認定され、JISA9511に規定されている保温板、保温筒の製造、販売を開始。 | 平成 12年 12月 | 品質システム規格ISO9001-1994年版（登録証番号JAB:JQ535A）を認証取得。 |
| 昭和 53年 12月 | シズオカ工場（金山化成シズオカ株式会社）を静岡県周智郡森町に建設、発泡スチロール製品の成形加工を開始。月産能力100t。 | 平成 13年 12月 | 株式会社サンクビットを東京都文京区湯島に設立。 |
| 昭和 56年 2月 | 東京営業所を東京都港区高輪に開設。 | 平成 15年 1月 | 環境システム規格 ISO14001-1996（登録証番号SGS/J/E245）認証取得。 |
| 昭和 56年 9月 | 中央化工株式会社を設立。
同年10月中央化工（株）工場を犬山市羽黒に建設、旭化成工業株式会社の発泡ポリエチレン（商品名メフ）の委託製造を開始。 | 平成 15年 7月 | 株式会社サンクビットを東京都千代田区鍛冶町へ移転。 |
| 昭和 60年 2月 | 名北化成株式会社を春日井市下津町に設立。 | 平成 17年 6月 | 金山化成（タイランド）ロジャナ工場をタイ国アユタヤ県に設立。 |
| 昭和 63年 12月 | 合併企業ポリフォーム カナヤマ アプライアンセズ LTD.をタイ国バンコク市に設立。初めて海外事業に進出。 | 平成 20年 4月 | 金山化成（株）が、グリーンアース（株）を吸収合併。 |
| 平成 元年 4月 | つくば工場（金山化成つくば株式会社）を茨城県明野町に設立。平成3年2月建設開始。 | 平成 25年 4月 | 開発センターを西尾市米津町に建設し、営業グループ、モールド工場、技術グループが移転。 |
| 平成 3年 1月 | カナコ株式会社を米津配送センターに設立。加工部門の分離。 | 平成 29年 4月 | 西尾工場、つくば工場にてJISA9521認証取得。 |
| 平成 3年 3月 | タイ合併企業のポリフォーム カナヤマ アプライアンセズ公式オープン。 | 平成 29年 7月 | 品質システム規格ISO9001-2015（登録番号JP08/061005.0）へ移行、認証取得。
環境システム規格ISO14001-2015（登録番号JP08/070420.0）へ移行、認証取得。 |
| 平成 3年 4月 | 金山化成（株）がグループ内5社〔金山織布（有）、金山化成犬山（株）、金山化成シズオカ（株）、名北 | 平成 30年 1月 | 金山化成タイランドはアマタナコーン工業団地内に新工場を建設し、アマタ工場・ロジャナ工場・CKTを統合。 |
| | | 令和 3年 4月 | SDGs活動宣言実施。 |



海外拠点

OVERSEAS LOCATION

บริษัท คานายามา คาเซอิ (ประเทศไทย) จำกัด **KANAYAMA KASEI (THAILAND) CO.,LTD.**



Corporate Outline

Company Name	KANAYAMA KASEI (THAILAND) CO.,LTD.	
Foundation date	2.September.1999	
Capital	205 Million THB	
Head Office Address	700/1014 Moo 9, Amata City Chonburi Industrial Estate, Tambol Mappong, Amphur Phanthong, Chonburi 20160 Thailand TEL [038]743-863~6 FAX [038]213-017	
Director	President Mr. Masaru Komura	
Shareholders	Kanayama Kasei Co.,Ltd. 100%	
Main business	Expandable Plastic (EPS,EPP) Molding and Assembly Die (Aluminum Mold) Manufacturing	
Area	Site	50 Rai (80,000㎡)
	Building	20 Rai (32,000㎡)
Employee	580 Persons (1.Apr.2023) Including 4 Japanese staff	

CHONBURI.
THAILAND



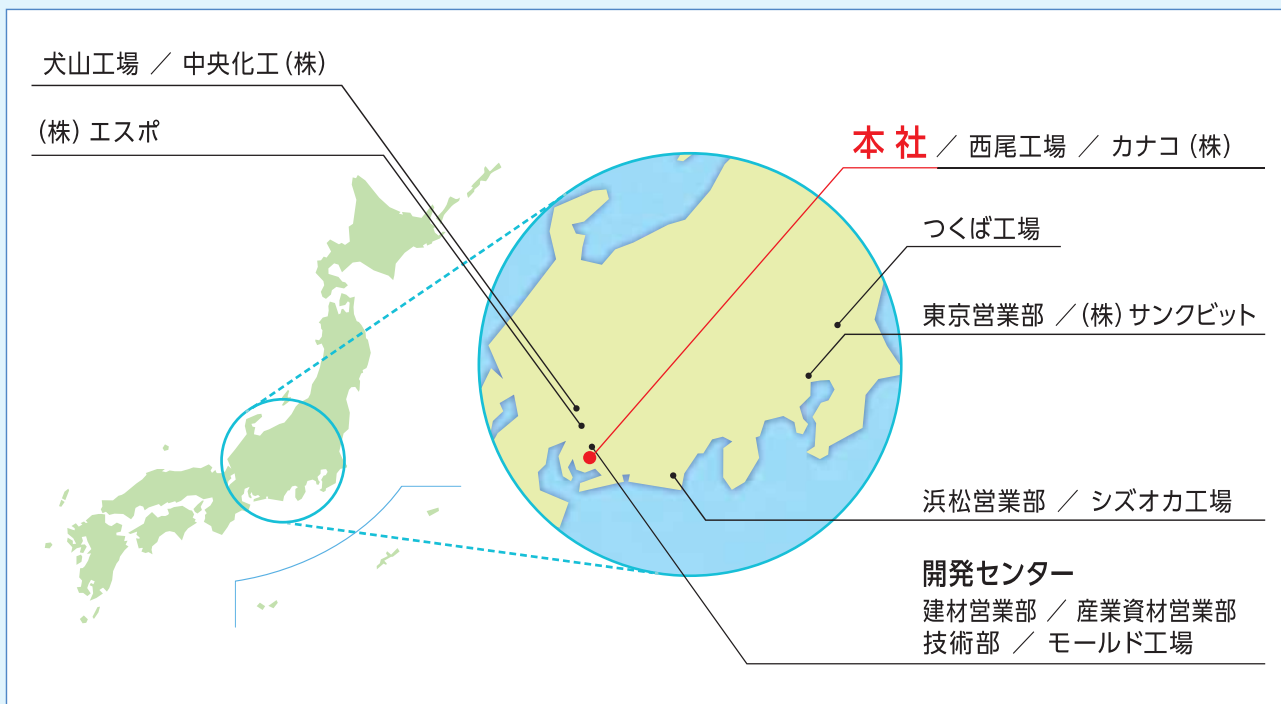
Acquired the certificate
ISO 9001, ISO14001
by Bureau Veritas





開発・営業・生産拠点

DOMESTIC LOCATIONS



本 社	〒445-0816 愛知県西尾市宮町260	TEL(0563)56-2211	FAX(0563)56-6974
技術部	〒445-0802 愛知県西尾市米津町北浦16-2	TEL(0563)56-2212	FAX(0563)56-2950

営業拠点	建材営業部	〒445-0802 愛知県西尾市米津町北浦16-2	TEL(0563)56-2334	FAX(0563)56-2600
	産業資材営業部	〒445-0802 愛知県西尾市米津町北浦16-2	TEL(0563)56-2311	FAX(0563)56-2904
	浜松営業部	〒437-0223 静岡県周智郡森町中川字神合1780-1	TEL(0538)49-0331	FAX(0538)49-0563
	東京営業部	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 フェリスビル5F	TEL(03)5256-5631	FAX(03)5256-5640

生産拠点	西尾工場	<small>日本産業規格 認証取得工場</small>	〒445-0816 愛知県西尾市宮町260	TEL(0563)56-7169	FAX(0563)56-7168
	犬山工場		〒484-0894 愛知県犬山市羽黒字河北東25-1	TEL(0568)67-3685	FAX(0568)67-6492
	シズオカ工場		〒437-0223 静岡県周智郡森町中川字神合1780-1	TEL(0538)49-0215	FAX(0538)49-0455
	つくば工場	<small>日本産業規格 認証取得工場</small>	〒300-4522 茨城県筑西市向上野字北原1500-6	TEL(0296)52-6011	FAX(0296)52-6015
	モールド工場		〒445-0802 愛知県西尾市米津町北浦16-2	TEL(0563)56-5805	FAX(0563)56-2950

国内グループ会社	中央化工(株)	〒484-0894 愛知県犬山市羽黒字河北東25-1	TEL(0568)67-6120	FAX(0568)67-6492
	カナコ(株)	〒445-0816 愛知県西尾市宮町260	TEL(0563)56-2625	FAX(0563)56-2667
	(株) エスポ	〒486-0924 愛知県春日井市下津町字丸野381	TEL(0568)85-3356	FAX(0568)83-0821
	(株) サンクビット	〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-3-14 フェリスビル5F	TEL(03)5256-5637	FAX(03)5256-5640



 *KANAYAMA KASEI CO.,LTD.*

<https://www.kk-g.co.jp>